

愛知県資料

愛知県政労使協議会

「外国人材の受入れについて」

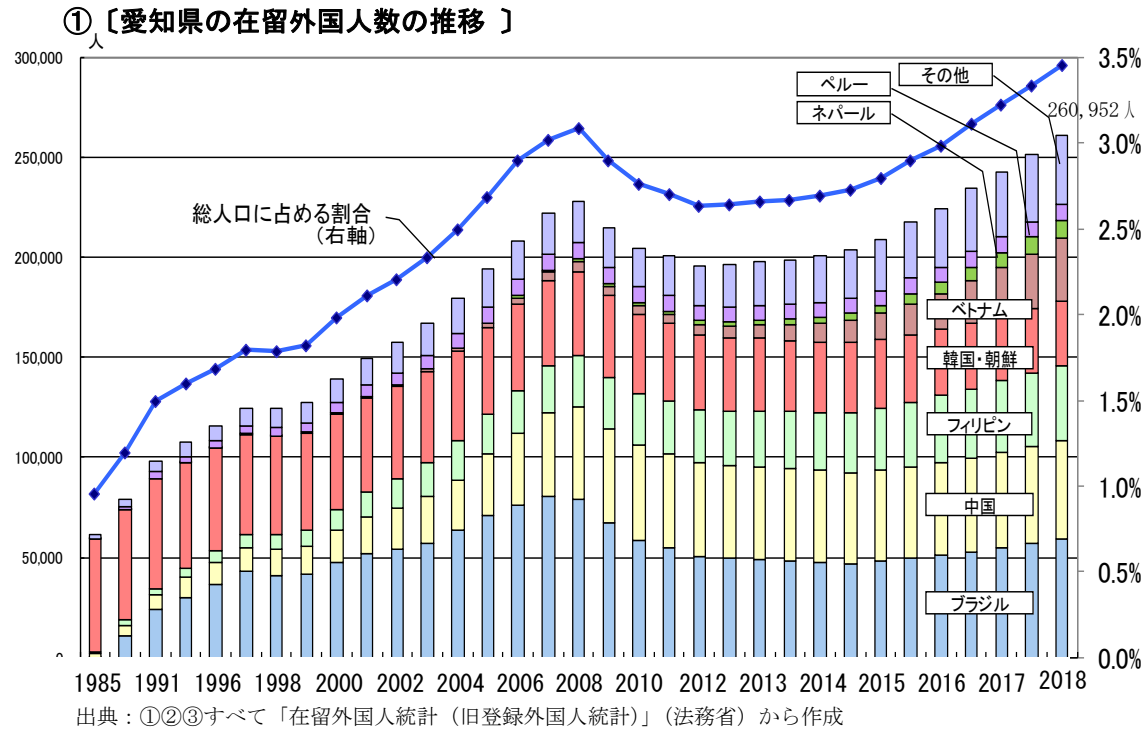
2019 年 11 月 12 日

愛知県議会議事堂 1 階 ラウンジ

愛知県の外国人の現状について

1 愛知県の在留外国人数の推移等

- 愛知県の在留外国人数は、2018 年 12 月末現在、260,952 人と過去最高を記録し、全国では、東京都に次いで 2 番目に多い。
- 在留資格別に見ると、「永住者」などの「身分・地位に基づく在留資格」（いわゆる定住外国人）が東京都に次いで、全国で 2 番目に多く、愛知県の在留外国人の約 3 分の 2 を占めている。
- 国籍別では、依然としてブラジルが多いが、2008 年と比較するとベトナム、フィリピン、ネパールなどの人数が大きく増加している。



②〔都道府県別「身分・地位に基づく在留資格」の外国人数〕

順位	都道府県名	「身分・地位に基づく在留資格」の外国人数 〔単位：人（％）〕	（参考）在留外国人総数 〔単位：人〕
1	東京都	243,316（42.9）※2	567,789
2	愛知県	170,749（65.4）	260,952
3	大阪府	154,588（64.7）	239,113
4	神奈川県	128,237（58.6）	218,946
5	埼玉県	95,623（52.9）	180,762
6	千葉県	80,055（51.3）	156,058
（参考）全国		1,465,377（53.7）	2,731,093

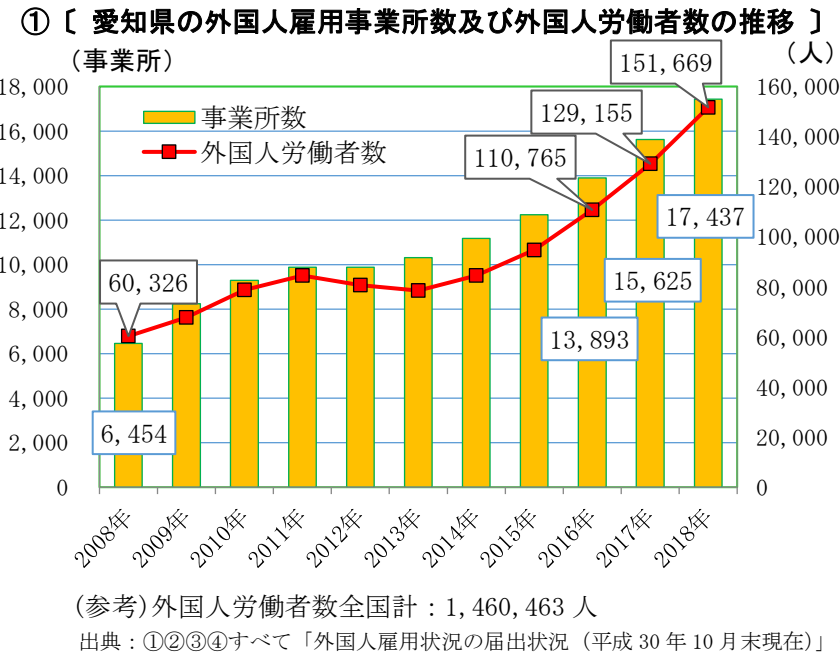
※1 「身分・地位に基づく在留資格」とは、「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」、「特別永住者」の累計。
※2 （ ）内は、在留外国人総数に占める割合

③〔愛知県の国籍別在留外国人数の増減(10年前比較)〕

2018 年 順位	国籍	人 数〔単位：人（％）〕		
		2008 年	2018 年	増減
1	ブラジル	79,156(34.7)	59,334(22.7)	▲19,822
2	中 国	46,167(20.2)	49,159(18.8)	2,992
3	フィリピン	25,829(11.3)	37,346(14.3)	11,517
4	韓国・朝鮮	41,598(18.2)	32,176(12.1)	▲9,422
5	ベトナム	4,951(2.2)	31,614(11.5)	26,663
6	ネパール	1,404(0.6)	9,093(3.5)	7,689
7	ペ ル ー	8,542(3.7)	7,750(3.0)	▲792
8	インドネシア	2,817(1.2)	6,332(2.4)	3,515
9	タ イ	1,735(0.6)	3,260(1.2)	1,525
10	米 国	2,581(1.1)	2,731(1.0)	150
—	そ の 他	13,652(5.9)	22,157(8.5)	8,505
総 数		228,432(100)	260,952(100)	32,520

2 愛知県の外国人労働者数の推移等

- 愛知県の外国人労働者数は、151,669 人と全国の外国人労働者数の約 1 割を占め、在留資格別では「技能実習」が全国で最も多く、「身分に基づく在留資格」、「特定活動」が 2 番目となっている。
- 愛知県において、外国人労働者を雇用する事業所は、事業所規模 100 人未満が多く、約 8 割を占めている。産業別では、製造業が最も多く、卸・小売業、宿泊業・飲食サービス業と続いている。
- 法務省の発表では、新たに創設された在留資格「特定技能」による在留者数は、2019 年 6 月末現在で、全国 20 名、愛知県 0 名となっている。



②〔都道府県別在留資格別外国人労働者数 トップ 5 〕

〔単位：人〕

順位	技能実習	身分に基づく在留資格	特定活動(※1)	専門的・技術的分野の在留資格	資格外活動(※2)
1	愛知県 33,310	東京都 112,208	東京都 10,354	東京都 135,867	東京都 165,124
2	大阪府 16,403	愛知県 78,053	愛知県 3,430	大阪府 20,173	大阪府 28,596
3	広島県 15,354	神奈川県 36,308	群馬県 2,569	愛知県 19,371	福岡県 20,622
4	東京都 15,182	静岡県 35,244	大阪府 2,405	神奈川県 16,893	愛知県 17,502
5	茨城県 13,174	埼玉県 27,692	栃木県 1,795	福岡県 7,511	千葉県 16,786

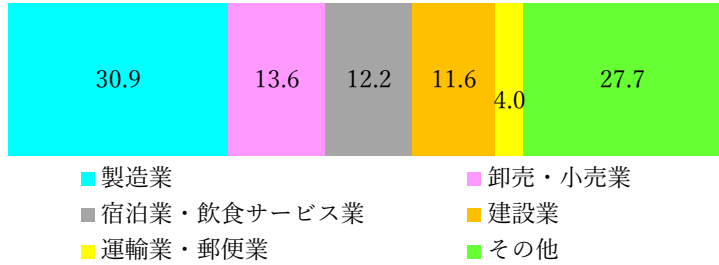
※1 特定活動：ワーキング・ホリデー、外交官等に雇用される家事使用人等の合計。
※2 資格外活動：留学生のアルバイト等。

③〔愛知県の規模別外国人雇用事業所数・外国人労働者数〕

事業所規模	事業所数(構成比)	労働者数(構成比)
30 人未満	10,197 人(58.5%)	50,416 人(33.2%)
30～99 人	3,137 人(18.0%)	32,334 人(21.3%)
100～499 人	1,823 人(10.4%)	36,234 人(23.9%)
500 人以上	697 人(4.0%)	25,644 人(16.9%)
不明	1,583 人(9.1%)	7,041 人(4.6%)
合計	17,437 人(100%)	151,669 人(100%)

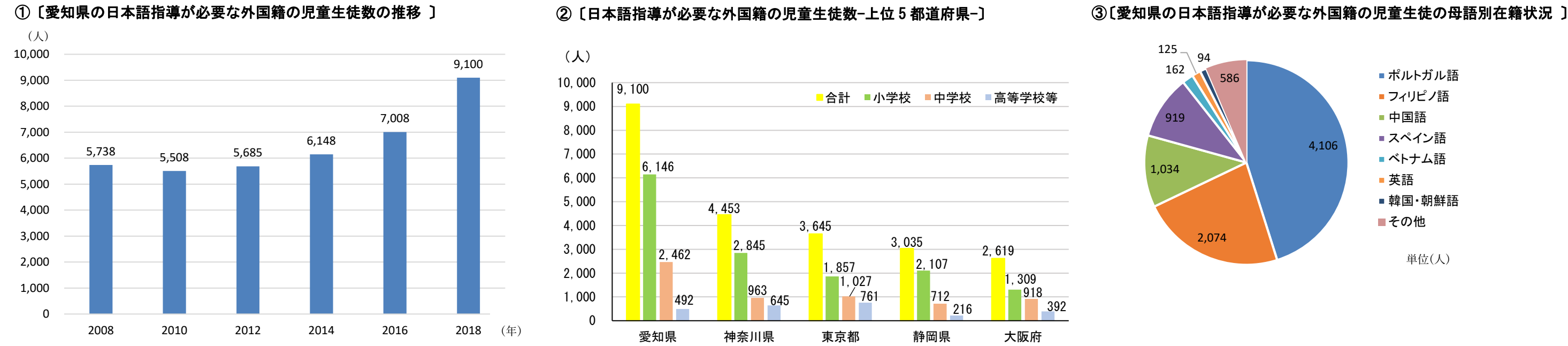
④〔愛知県の産業別雇用事業所の割合〕

〔単位：％〕



3 日本語指導を必要とする外国人児童等の現状

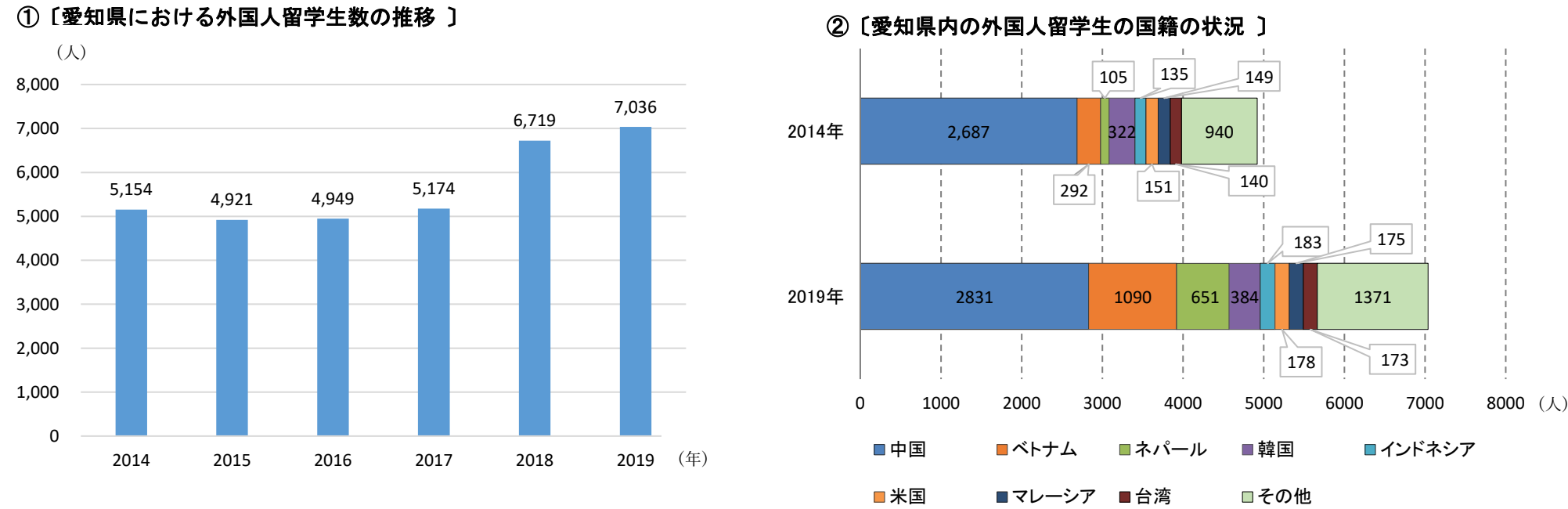
- ・2018 年 5 月 1 日現在の愛知県における日本語指導を必要とする外国籍の児童生徒数は、9,100 人と全国でも突出して多く、2010 年以降、増え続けている。



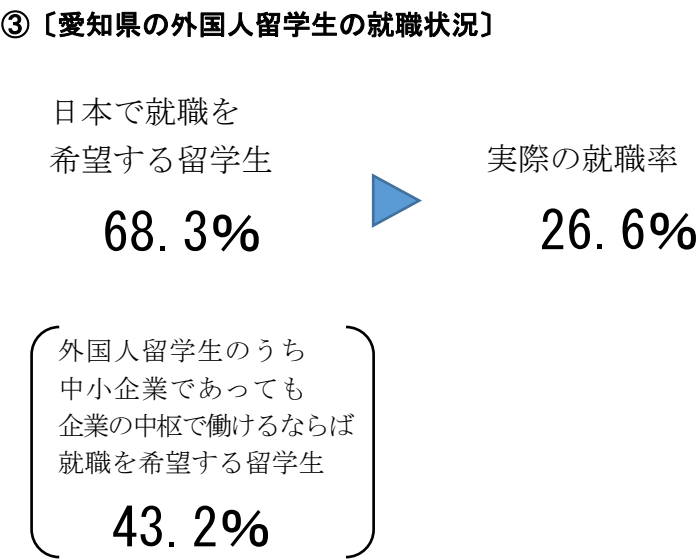
出典：「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（2018 年 5 月 1 日現在）」（文部科学省）から作成

4 外国人留学生の状況

- ・2019 年 5 月現在の愛知県内の大学院、大学、短期大学に在籍する外国人留学生数は、過去最高の 7,036 人となっている。
- ・2016 年度に実施した「外国人留学生就職支援施策検討調査」では、約 7 割の外国人留学生が日本での就職を希望しているのに対し、実際に就職している留学生は 3 割に満たない結果となっている。



出典：①②「留学生数等調査集計表（2019 年 5 月現在）」（愛知県留学生交流推進協議会）より作成



出典：③「2016 年度外国人留学生就職支援施策検討調査」（愛知県）

外国人材の受入れに関する県の対応について

- 新たな在留資格の創設により、今後も、愛知県における外国人材の増加が見込まれることから、外国人材の受入れや共生に向けた環境整備が適切に行われることを目的に、「あいち外国人材適正受入れ・共生推進協議会」を設置した。協議会のもとに、3つのワーキンググループを設置し、関係機関との情報共有等を図っている。
- また、世界の成長を続ける地域との関係強化を念頭に策定した「あいち国際戦略プラン2022」に基づき、グローバル人材の育成・集約、産業の一層のグローバル化等の視点から国外の優秀な人材を呼び込み、定着させる取組を行っている。

1 「あいち外国人材適正受入れ・共生推進協議会」(2019年2月設置)

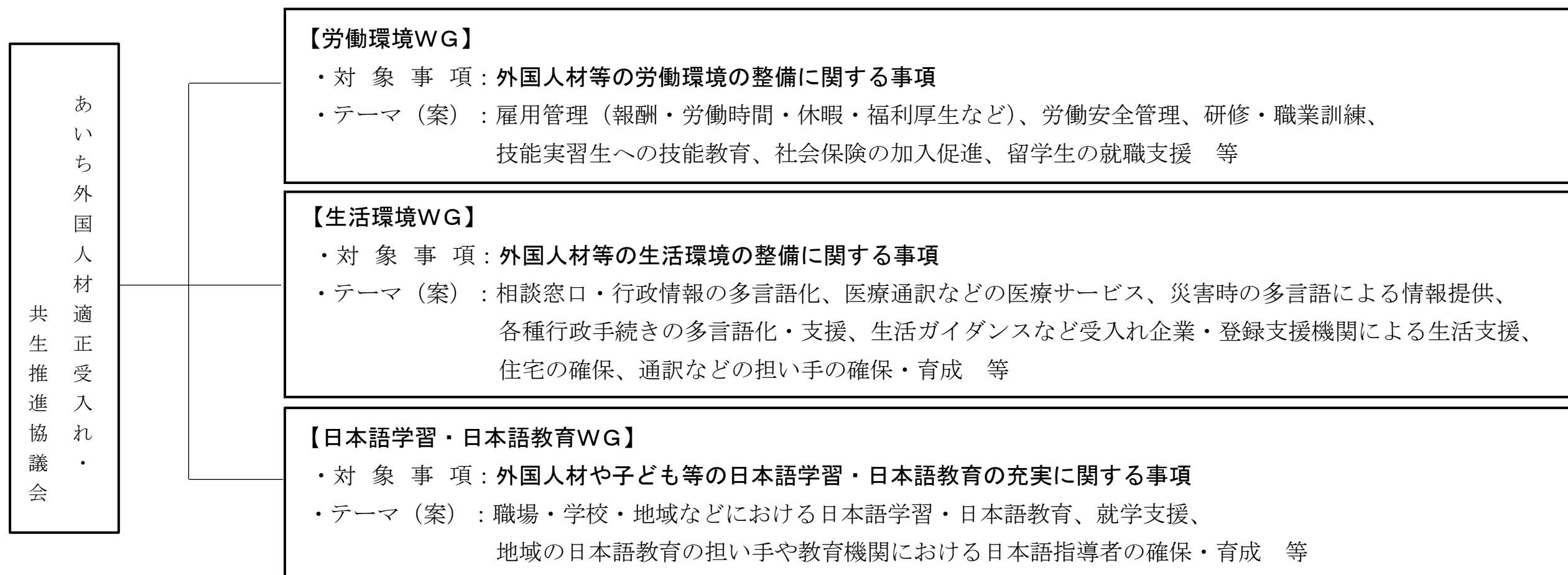
(1) 設置目的

2019年4月施行の改正出入国管理法による新たな在留資格「特定技能」の創設に伴い、さらに多くの外国人材の愛知県での就労・居住が想定されることから、外国人材の受入れや共生に向けた環境整備が適切に行われるよう、関係機関において情報共有や相互連携等を図る。

(2) 構成団体

名古屋出入国在留管理局、愛知労働局、東海北陸厚生局、東海農政局、中部経済産業局、中部地方整備局、中部運輸局、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、一般社団法人中部経済連合会、愛知県経営者協会、愛知県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、名古屋市、愛知県市長会、愛知県町村会、公益財団法人愛知県国際交流協会、東海日本語ネットワーク、愛知県(19団体)

(3) ワーキンググループ(WG)



(4) 県の具体の取組

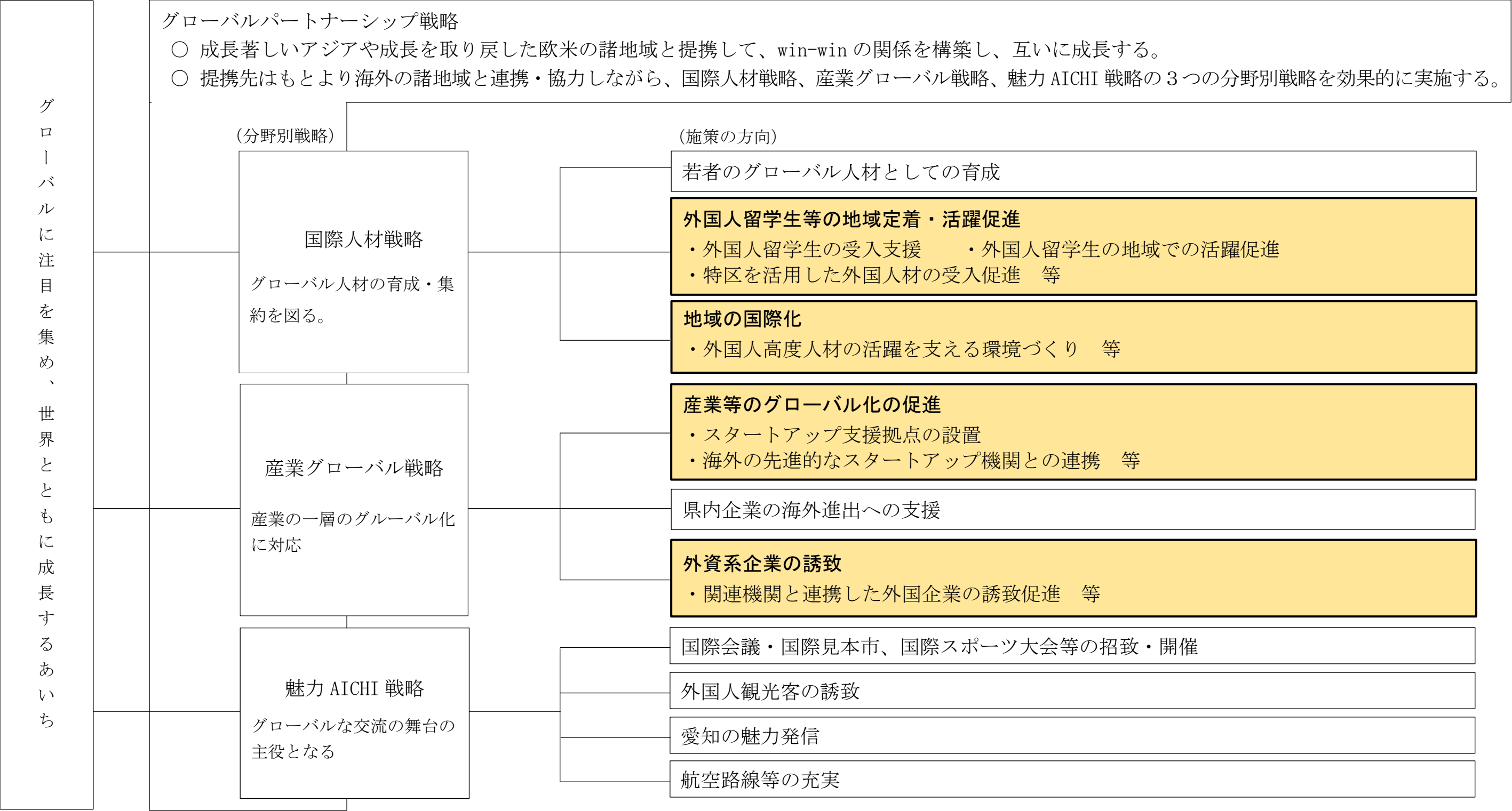
主な協議事項	協議事項に関する県の具体の取組
労働環境の整備	・労働関係法令の啓発資料の作成、労働相談、労働講座の実施 ・定住外国人の雇用拡大に向けた企業に対するセミナー、就職面接会の開催 ・新たに来日した外国人労働者等の日常生活支援を行う受入れ企業が採用する研修カリキュラム、教材等の作成 ・技能実習生受入れ企業向けに技能指導を実施 ・外国人看護師候補者への日本語能力の習得、研修支援体制の充実を図る受入れ施設への助成 ・外国人労働者に関する憲章の普及促進 等
生活環境の整備	・あいち多文化共生センターによる外国人相談等の実施 ・新たに来日した外国人労働者等の日常生活支援を行う受入れ企業が採用する研修カリキュラム、教材等の作成（再掲） ・外国人向け生活設計支援冊子の作成 ・あいち医療通訳システムの運営 ・あいち救急医療ガイド（WEB 画面）の運営 ・愛知県災害多言語支援センターの設置 等
日本語学習・日本語教育の充実	・小中学校への日本語を指導する教員の配置、語学相談員の派遣 ・県立学校への教育支援員の配置、通訳機の導入 ・定時制高校の外国人生徒等の正規雇用の就労先を開拓する「就労アドバイザー」の配置 ・地域における初期日本語教室開催及び指導者の養成 ・外国人の日本語教育推進会議の開催 ・多文化子育てサロン、プレスクールの設置促進 ・日本語スピーチコンテストの開催 ・「日本語学習支援基金」を活用し、NPO や外国人学校が行う日本語教室に対する運営等の助成 ・市町村域を越えて日本語教室に通う外国人児童生徒の送迎等にかかる補助 等

2 「あいち国際戦略プラン2022」(2018年3月策定)

(1) 策定趣旨

世界の成長を続ける地域との関係強化を念頭に、グローバル人材の育成、産業のグローバル化、魅力の創出の3つの分野別に戦略を立て、施策を効果的に実施することで、世界中から注目を集め、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり、集積が集積を呼び、グローバルに成長を続けるあいちを目指す。

(2) 戦略と施策の体系



(3) 主な具体の取組

分野別戦略	施策の方向	主な具体の取組
国際人材戦略	○外国人留学生等の地域定着・活躍促進	・愛知のものづくりを支える留学生の受入れ ・外国人留学生が県内企業へ就職するためのインターンシップや交流会等の実施 ・留学生の活用を促すパンフレットの作成・配付 ・留学生採用講座の開催 ・愛知県国家戦略特別区域の区域計画に基づく、外国人創業人材の受入れに係る出入国管理法等の基準緩和 ・国家戦略特区を活用した農業支援外国人の受入れ ・国家戦略特区を活用した家事支援外国人の受入れ 等
	○地域の国際化	・インターナショナルスクールを始めとする外国人学校に対する補助 等
産業グローバル戦略	○産業等のグローバル化の促進	・テキサス大学、シンガポール国立大学、Paris & Co、IMT Atlantique との連携によるスタートアップ支援 ・スタートアップの創出・育成とともに、国内や海外の優れたスタートアップを本県に集積させるための支援拠点 等
	○外資系企業の誘致	・I-BAC(愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター)、グレーターナゴヤイニシアティブ(GNI)、JETRO との連携による企業誘致 等